

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年3月10日 (2011.3.10)

【公開番号】特開2011-4753(P2011-4753A)

【公開日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2010-174020(P2010-174020)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/315 (2006.01)

C 0 7 K 16/12 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 0 7 K 14/315

C 0 7 K 16/12

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 P 21/02 C

A 6 1 K 39/09

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 Q

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/04

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/569 F

G 0 1 N 33/15 Z

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月6日 (2010.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下からなる群から選択される核酸配列を含む抗原またはその断片をコードする単離核酸分子：

a) 配列番号70を有する核酸分子に対して少なくとも 70%の配列同一性を有する核酸分子

、

b) a)の核酸分子に相補的な核酸分子、

c) a)またはb)の核酸分子の少なくとも15の連続する塩基を含む核酸分子、

d) a)、b)、またはc)の核酸分子とストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下でアニールする核酸分子、および

e) 遺伝暗号の縮重がなければ、a)、b)、c)またはd)の核酸分子とハイブリダイズしうる核酸分子。

【請求項 2】

請求項1の核酸分子を含むベクター。

【請求項 3】

請求項2のベクターを含む宿主細胞。

【請求項 4】

請求項1の核酸分子によってコードされる抗原性ポリペプチド、またはその抗原性断片または抗原性変異体。

【請求項 5】

以下のいずれかを特徴とする請求項4の抗原：

a) 抗原が配列番号214の単離ポリペプチドを含むか、または配列番号214の単離ポリペプチドからなる、

b) その抗原性断片が配列番号214のポリペプチドの少なくとも70%からなる、

c) その抗原性変異体が配列番号214のポリペプチドに対して少なくとも70%の配列同一性を有する、

d) 抗原性変異体または抗原性断片が、配列番号214のポリペプチドまたはその抗原性断片の1-10アミノ酸の置換または欠損または挿入をいずれかの組み合わせにて含む、および/または、

e) 抗原またはその断片がリーダー配列、分泌配列、精製に用いられる配列、またはプロタンパク質配列をさらに含む。

【請求項 6】

請求項1の核酸分子を発現させることを含む、請求項4または5の抗原、またはその抗原性断片または抗原性変異体の生産方法。

【請求項 7】

請求項4または5の抗原またはその抗原性断片または抗原性変異体、または請求項1の核酸分子、または請求項2のベクターを含む医薬組成物。

【請求項 8】

請求項4または5の抗原またはその断片またはその変異体の少なくとも選択された部分に結合する、抗体、または少なくともその有効な部分。

【請求項 9】

請求項8の抗体を生産するハイブリドーマ細胞株。

【請求項 10】

以下の工程を特徴とする請求項8の抗体の生産方法：

a) 請求項4または5の抗原またはその抗原性断片または抗原性変異体を非ヒト動物に投与することにより、非ヒト動物において免疫応答を開始させる工程、

b) 該動物から抗体を含有する体液を取り出す工程、および

c) 該抗体を含有する体液をさらなる精製工程に供することにより、抗体を生産する工程  
、

または以下の工程を特徴とする請求項8の抗体の生産方法：

a) 請求項4または5の抗原またはその抗原性断片または抗原性変異体を、非ヒト動物に投与することにより、非ヒト動物において免疫応答を開始させる工程、

b) 該動物から脾臓または脾臓細胞を取り出す工程、

c) 該脾臓または脾臓細胞のハイブリドーマ細胞を作る工程、

d) 該抗原またはその抗原性断片または抗原性変異体に特異的なハイブリドーマ細胞を選択およびクローン化する工程、

e) クローン化した該ハイブリドーマ細胞の培養により抗体を生産する工程。